

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成20年10月20日 第36号

CONTENTS

1 コラム

【1】『森林を活かす』（森林総合利用・山村振興室長）

2 当庁の動き

【1】小笠原諸島森林生態系保護地域における新たな取組について  
～利用ルールの導入について～

【2】「間伐材チップの紙製品への利用促進に係る意見交換会」の中間  
とりまとめについて

【3】第7回森の「聞き書き甲子園」参加高校生と「森の名手・名人」  
の組み合わせについて

【4】平成20年度間伐・間伐材利用コンクールについて

【5】第1回木材利用に係る環境貢献度の「見える化」検討会の概要に  
ついて

3 森林（もり）づくりと木づかいに関する情報

美しい森林づくりニュース

森林ボランティア活動情報

イベント情報

【1】第32回全国育樹祭

【2】農林水産省本省「消費者の部屋」特別展示

【3】第52回全国銘木展示大会

【4】2008東京国際木工機械展

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 コラム

【1】『森林を活かす』（森林総合利用・山村振興室長）

今回は、厨（くりや）森林総合利用・山村振興室長より森林資源の活用についてお話をします。

日本は世界でも有数の森林国で、しかも、森林資源は我が国にとって数少な

い再生産が可能な資源です。一方、石油価格が高騰し、世界的な規模でかぎられた資源の争奪がはじまっています。

こうしたなかで、これまで採算があわずに使われていなかった間伐材や木くずなどの木質バイオマス資源を、石油のかわりに燃料や新素材の原料として活用しようとする新しい試みが、一部ではじまりつつあります。しかも、それは、石油を燃やすよりも二酸化炭素の排出量が少なくなり、適切な森林の整備につながるという点でも、評価されるものです。

また、社会全体のストレスが増すなかで、森林をはじめとする自然環境のなかでの体験活動の教育効果や、森林・山村の癒しの場としての活用に対する都市住民や企業の関心が高まっています。

こうした森林・山村に対する新たなニーズにも応えながら、山村が地域の豊かな森林資源を活かしていくことが、これからの課題だと考えています。

## 2 当庁の動き

### 【1】小笠原諸島森林生態系保護地域における新たな取組について ～利用ルールの導入について～

林野庁関東森林管理局では、小笠原諸島の国有林の「小笠原諸島森林生態系保護地域」において、レクリエーション等の利用による固有の生態系へのインパクトを軽減し、利用と保護の調整を図るための措置として、立ち入ることのできるルートを指定するなどの新たな利用のルールを導入することにしました。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keiki/080929.html>

### 【2】「間伐材チップの紙製品への利用促進に係る意見交換会」の中間とりまとめについて

本年3月から7月にかけて合計3回開催した「間伐材チップの紙製品への利用促進に係る意見交換会」において出された意見について、「間伐材チップの紙製品への利用促進に係る取組方向」(中間とりまとめ)を作成しましたのでお知らせします。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/mokusan/080929.html>

### 【3】第7回森の“聞き書き甲子園”参加高校生と「森の名手・名人」の組み合わせについて

「森の“聞き書き甲子園”」とは全国の高校生100人が森とともに生きる知恵や技を持つ「森の名手・名人」を訪ね、その知恵や技術、人となりを“聞き書き”し、記録・発表を行う活動です。

このほど、参加高校生と「森の名手・名人」組み合わせが決定致しましたのでお知らせします。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/hozen/080930.html>

#### 【４】平成２０年度間伐・間伐材利用コンクールについて

間伐材推進中央協議会（森林・林業に関係する１７団体で構成）は、間伐の実施及び間伐材の利用に係る斬新かつ積極的な取組を普及するため、平成１２年度から「間伐・間伐材利用コンクール」を実施しています。

本年９月３０日に開催された同コンクール審査委員会において、平成２０年度の受賞者が決定しましたのでお知らせします。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kanbatu/081008.html>

#### 【５】第１回木材利用に係る環境貢献度の「見える化」検討会の概要について

木材は、再生可能でカーボンニュートラルな資源であるとともに加工等に必要  
なエネルギーも低い「環境に優しい」資材であり、その利用を通じて「低炭素社会」  
の構築に大きく貢献することが可能です。

このような他の材料には見られない特性を生かし、木材、とりわけ国産材の利  
用に係るＣＯ２効果などの環境貢献を、具体的な数値データをもって評価し、広く  
国民に普及すること（「見える化」）が、木材の需要拡大の観点からも重要です。

このほど、「見える化」についての第１回目の検討会を開催しましたので、その  
概要をお知らせします。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/081009.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/index.html>

### ３ 森林（もり）づくりと木づかいに関する情報

#### 美しい森林づくりニュース

地球温暖化の防止への貢献や次の世代に美しいみどりを伝えていくため、  
「伝えたい木の文化、残したい美しい森」をキャッチフレーズに「美しい森林（もり）  
づくり推進国民運動」が始まっています。

この運動の展開状況についてお知らせすることにより、多くの国民の皆様にご  
理解、ご賛同頂けるよう「美しい森林づくりニュース」を発行しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html>

### 森林ボランティア活動情報

全国各地でボランティアによる森林づくり活動が活発に行われています。  
(社)国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

### イベント情報

#### 【1】第32回全国育樹祭

全国育樹祭は、皇族殿下の御臨席のもと、全国各地からの参加者を得て、皇族殿下によるお手入れ等、参加者による育樹活動を通じて、活力ある緑の造成気運を高め、次代への連帯性を高めることを目的に、毎年秋季に開催されており、平成20年度の第32回大会が愛媛県で開催されます。

開催日 平成20年10月26日(日)  
場 所 愛媛県松山市「愛媛県武道館」  
主 催 (社)国土緑化推進機構、愛媛県

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.pref.ehime.jp/h35780/ikujusai/gaiyo.htm>

#### 【2】農林水産省本省「消費者の部屋」特別展示

下記の期間、農林水産省北別館1階『消費者の部屋』(東京都千代田区)にて特別展示を行います。

展 示 名 木づかい推進月間 第2弾：オフィスでできる木づかいエコ活動  
展示内容 10月は「木づかい推進月間」です。木を使うことは、地球温暖化防止につながります。日本の森を育てるために、ちょっとした「木づかい」を始めてみませんか？第2弾では、エコ活動としてオフィスで利用できる国産材製品をご紹介します。  
展示期間 平成20年10月27日(月)～10月31日(金)

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/heya/tenzi/0810/27.html>

#### 【3】第52回全国銘木展示大会

銘木の啓蒙、宣伝、普及を図り、銘木による文化の昂揚に寄与し、銘木業界の振興発展を促進することを目的に以下の期間開催されます。

開催日 平成20年11月11日(火)～11月15日(土)

会場 岐阜県銘木協同組合(岐阜市)

主催 全国銘木連合会

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.ccom.or.jp/meiboku/>

#### 【4】2008東京国際木工機械展

木工機械や刃物に限らず広く木材、プラスチック、軽金属、窯業材料等の加工に使われる装置・設備が展覧されます。さらに来場される建築・建材、家具・建具のメーカーの皆様をターゲットとして木工機械以外の様々な商品が展覧、実演されます。

開催日 平成20年11月19日(水)～22日(土)

会場 東京国際展示場(東京ビックサイト)

主催 日本木工機械協同組合

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.mmjp.or.jp/nichimoku/exhibition/poster.html>

#### 編集後記

先日、私用で山形旅行に行ってきました。松尾芭蕉の句でも有名な宝珠山立石寺(通称「山寺」)では、うっすら紅葉が始まり秋を感じることができました。また、各地での産業祭では山菜の煮物や、柿などの果物がたくさん売られており、何を食べても美味しく、食欲の秋も感じてきました。山寺の長い石段の入口には、石段を一段二段と登ることで煩惱が消滅すると書いてありましたが、残念ながら私の食欲は消すことができなかったようです。

紅葉も見頃となってきました。皆さんも、秋を感じに出かけてみてはいかがでしょうか？

ご意見をお寄せ下さい。

御意見、御要望、又は転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

## ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。  
PDFファイルをご覧いただくためには林野庁ホームページ  
<http://www.rinya.maff.go.jp/index.html> をご覧になり、  
「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

## 編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1  
林野庁 広報室  
TEL 03-3502-8026  
E-mail : [https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM\\_NO=82](https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=82)

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の方法及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで手続きをお願いいたします。  
パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。  
<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>  
変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

メールマガジンの配信停止  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/can.html>  
配信停止の際には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワード再発行  
万一パスワードをお忘れの場合は下記より御登録いただいたメールアドレスを入力して、パスワードの再発行をしてください。  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>